

本にふれませんか



【問合先】市立図書館 ☎ 23514



テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなど用途によってさまざまな方法で情報が得られる時代になり、総務省が発表した2016年における個人のモバイル端末の保有状況は、スマートフォン全体の保有率が58%、モバイル端末全体(携帯電話・PHS、スマートフォン)の保有率も83%と、いつでも手軽に欲しい情報が欲しいときに求めることができるようになりました。

特にスマートフォンの普及により、あらゆるジャンルの本が電子書籍で読めるようになりましたが、皆さんは普段どれくらい読書をしていますか。

読書は、年齢問わずさまざまな効果が期待できます。小さなお子さんを子育て中のお母さんは「子

供に本の読み聞かせをしましょう」という言葉を耳にしたことがあるのではないだろうか。小さなころから読書をする習慣を身に付けることで、科学的な観点から「論理的に考えられる能力やコミュニケーション能力が高くなる」とも言われています。

そのほか小さなころに読書によって得られる効果は、次のようなことがあるようです。

言語能力の発達

読み聞かせをしてもらうことで、新しい言葉を覚えていきます。絵本では、初めて聞いた言葉が絵の中から選び確認することができます。より理解できます。

本の選び方

読書の苦手な方は、全部読み切ろうとせず気になった個所だけ読んでみたり、興味を持った題名の本を選び「はじめに」「おわりに」や「目次」に目を通すと、あなたの気になるものがみつかるかもしれません。

また、筆者の意図や本の概要を知ることができ、読んでみたい本選びの一つとして役立てることができます。気軽な気持ちで始めてみませんか。

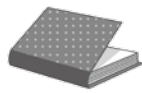


本の重みと1枚1枚めくる感触を確かめながら、読書で自分の時間を楽しみませんか。



読書を通じて多くのことを知ることができ、さまざまな組み合わせや展開する能力が養われ、違った視点でのアイデアを

新しいアイデアが浮かぶ

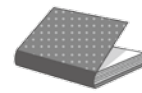


文章の起承転結を順序立てて構成する能力が身に付いていきます。読書の回数を増やす、ジャンルを広げることによってさまざまなパターンの蓄えができます。

文章力が身に付く

書かれている内容を頭の中で情景や登場人物など想像します。本の量が増えればそれだけ想像の機会が増え楽しめる幅が広がります。

想像力が高まり 脳内の働きが活性化



本が好きならば集中力が高いともいわれています。本を通して集中力が身に付けば授業を集中して受けられたり、さまざまなことに集中力が保てるため上達が早くなると言われています。

集中力が身に付く

図書館へ行こう

発想しやすくなります。

読書は心や頭の中を豊かにし、あらゆる能力を高めてくれることが期待できます。現在、図書館には34,485冊(10月1日現在)のあらゆるジャンルの本があり、子供から大人まで自分好みの1冊を見つけることができます。そして、図書館ではお薦めの1冊として「今月の1冊」、新書の「新刊案内」を広報みかさの最終ページで毎月紹介しています。購入すると何週間も待たなければならぬ話題の本が、早く読むことができるかもしれません。気に入った本を手元に置きたい方は、まずは図書館で借り、借りている間に注文するという方法はいかがでしょうか。上手に図書館を利用すると時間を有効的に使えますよ。



第10回

かるがもさんのおはなしまつり



市内や市外で活躍しているボランティアの皆さんによるおはなしまつりです。

人形劇・大型紙芝居・スライド・パネルシアターなど、楽しい催しが盛りだくさんです。

【日時】11月5日(日)午前10時～正午(午前9時30分開場)

【場所】公民館3号会議室

【内容】

- ▶人形劇「とうふちゃんとゴーヤくん」
- ▶大型紙芝居「きき耳ずきん」など



図書館では

子供たちに楽しく本に親しんでもらえるようさまざまな取り組みを行っています

絵本とおはなし かるがも会

毎月、公民館視聴覚室で行っています。

広報みかさの最終ページに掲載しています。



ブックスタート

4か月健診に、絵本2冊と読み聞かせのアドバイス集などを配布しています。



特別企画

夏休みや冬休み期間中に、図書館の仕事を体験する一日司書体験や、読み聞かせと手話体験、工作体験を行っています。

